

1 単元名 持続可能な社会へ 物やお金の使い方

2 単元の目標

- 物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について理解するとともに、購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 (知識・技能)
- 物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決することができる。 (思考・判断・表現)
- 家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。 (主体的に学習に取り組む態度)

3 単元について

(1) 教材観

本単元では、市立や環境を大切にすよりよい生活を目指して、「持続可能な社会」などの視点から、課題をもって、物や金銭の使い方と買い物について考えていくことをねらいとしている。

ステップ1「よりよく選ぶために考えよう」では、消費者の役割について考え、物を手にいれるための方法について、自分の生活を見つめ直すことで、物やお金を上手に使うことについて考えさせ、消費者の役割をよりよく果たす工夫をしていくことが、持続可能な社会をつくることに気づかせる。

ステップ2「買い物について考えよう」では、売買契約の成立について理解したうえで、買い物の方法や種類、いろいろな支払いの方法を確認したり、買い物の手順に沿って上手な物の選び方について考えたりしながら、買い物の計画を立てさせる。

ステップ3「持続可能な社会をつくろう」では、環境や資源に配慮した物の選び方や買い物の仕方について意見交流を行うことで、家庭生活での実践意識を高め、一人ひとりが何を選ぶかが持続可能な社会をつくることにつながることに意識をふかめさせる。

「持続可能な社会」という見方・考え方で身近な消費生活と環境についてSDGsの実現と関連して考えていくことで、今の生活だけでなく、将来の人々の生活も豊かであるよう考えて生活することができる実践的な態度につなげていきたい。

(2) 児童観

本学級の児童は、第5学年1学期において、総合的な学習の時間の中で「SDGs」とは何かを知り、自分が興味を持った目標について調べてまとめる活動をしてきている。この活動を通して、SDGsにおける17の目標は、今の自分たちの世代だけでなく、未来の世代の人たちの生活にもつながる大切なものであり、自分たちができることを積極的に行っていくという意識をもつことが大切であることを理解している。

また、自分の生活体験や社会で取り上げられている課題、気象状況などからも、SDGsの考え方に寄り添って努力することの重要性を認識している。

そこで、生活する上で欠かせない物やお金の使い方を通して持続可能な社会のために自分たちができ

ることを探したり見つけたりすることは、たいへん意義深いと考える。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては、まず、身の回りや生活の場を見つめるために、教科書の導入イラストを提示する。このことを通して、日常生活のさまざまなところで物と関わって生活していることを改めて実感できるようにし、食品や衣類などの「形がある商品」だけでなく、「具体的な形がない」サービスにもお金を支払っていることに気づかせるようにする。また、消費者である私たちは、自分の考え方でものを選んだり管理したりする消費者の役割があることを理解させる。そして、消費者の役割を通して持続可能な社会をつくる第一歩としての工夫について問題を見いだし、課題を設定する。

次に、これまでの買い物経験を想起し、買い物シミュレーションを通して、買い物や支払いの方法について知り、よりよい買い物の仕方について考えさせる。「買い物の手順」や「上手な選び方」を参考に、買い物の目的や用途をよく考え、商品を選ぶための情報集めや整理の仕方の大切さに気づかせるようにする。

そして、自分と物の関わり方を想起させ、物を手に入れたり使ったりすることが自分らしさを表現することであり、持続可能な社会をつくることにも影響していることに気づかせる。商品のマークや表示、3Rを通して、環境や資源に配慮した物の選び方や使い方ができることを理解させ、物を選ぶときや買い物をするとき、SDGsの実現と持続可能な生活の工夫を関連付けさせて考えさせるようにする。

さらに、学習全体を振り返り、自分の生活を見直したり環境や資源に配慮した物の選び方や使い方をしようとする実践的な態度に結び付けるようにする。

(4) ESD との関連

・本学習で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

相互性・・・わたしたちの今の生活は、将来の生活につながるものである。わたしたちが今 SDGs の実現に向けて努力することで、将来の生活をよりよく変容することができるということ。

連携性・・・SDGs の実現に向けて、一人ひとりができることから取り組むことで、今を生きる私たちの消費生活をよりよいものにしていくということ。

・本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

未来像を予想して計画を立てる力

SDGs の実現の努力をせずに消費生活を続けていくとどうなるのかを予想し、消費生活と SDGs の視点を関連させることの大切さに気づかせるとともに、自分たちにできる消費生活の工夫について考える。

コミュニケーションを行う力

買い物シミュレーションや SDGs の実現と関連して考える消費生活の工夫など、グループや全体で話し

合いながらよりよい考えをつくりあげる。

・本学習で変容を促す ESD の価値観

幸福感に敏感になる、幸福感を重視する

今を生きる自分たちの生活だけでなく、将来の生活についても考えることが、全体の幸せにつながる。

・達成が期待される SDGs

2 飢餓をゼロに

- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任 使う責任
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさを守ろう

4 単元の評価規準

(ア) 知識及び技能	(イ) 思考力・判断力・表現力等	(ウ) 主体的に学習に取り組む態度
① 買い物の仕組みや消費者の役割が分かり、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解している。 ② 身近な物の選び方、買い方を理解しているとともに、購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ③ 自分の生活と身近な環境との関わりや環境に配慮した物の使い方などについて理解している。	① 身近な物の選び方や買い方、環境に配慮した生活や物の使い方などについて問題を見いだし課題を設定している。 ② 身近な物の選び方、買い方について、さらに、環境に配慮した生活について物の使い方などさまざまな解決方法を考え、工夫している。	① 家族の一員として、物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ② 家族の一員として、物や金銭に使い方と買い物や環境に配慮した生活について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ③ 家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について、工夫し、実践しようとしている。

5 単元の指導計画（全6時間）

次	学習活動	学習への支援（・）	評価（△） 備考（・）
1	○ よりよく選ぶために考えよう ・私たちがどのように物と関わって生活しているのかを考える。 ・消費者の役割について考える。 ・必要な物を手に入れる方法について考え、消費行動の問題を見いだし、課題を設定する。	・導入イラストと関連づけて、日常生活のさまざまなところで物と関わって生活をしていることを改めて実感できるようにする。 ・本単元を通して何を学ぶのか、何をできるようにするのか、リード文をもとに学習の見通しを持たせる。	△イ①
2	○ 買い物について考えよう ① 買い物について考える ・買い物の中で契約が成立する場面を考える。 ・買い物の方法や支払いの方法を考える。	・資料「収入と支出のバランス」を見ながら、家庭では計画を立て、収入と支出のバランスを考えてお金を使っているこ	△ア①② △イ② △ウ①②

	<p>②買い物に必要な情報を収集、整理して、商品を選び、買い物をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品をどのように選ぶか、買い方の手順を考える。 買い物の場面を想定して情報を集め、整理し、さまざまな解決方法を考え、工夫しながら何を選ぶかを決める。 	<p>とを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料「いろいろな買い物」を見ながら、買い物の場面を想起させ、場合に応じて一番よい方法を考えさせる。 資料「買い物の手順」「上手な選び方」を参考にして、商品を選ぶ手がかりをいろいろな観点から考えて比較することの大切さを理解させる。 	
3	<p>○ 持続可能な社会をつくろう</p> <ul style="list-style-type: none"> 消費者として持続可能な生活の工夫についてできることを考え、買い物と環境や資源との関わりを知る。 自分らしい持続可能な生活の工夫について、課題解決に向けて考えたことをカードなどにまとめて発表する。 発表をふり返り評価するとともに、改善策として持続可能な社会をつくるための自分らしい生活の工夫を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 商品マークや表示を見ることで、環境や資源への配慮を確認できることに気づかせる。 自分らしい持続可能な生活の工夫について、SDG s の実現と関連付けて考えさせる。 持続可能な生活の工夫について、グループや全体で発表して学び合わせる。 単元全体の学習をふり返り、自分の生活を見直し、環境や資源に配慮した物の選び方や使い方をしようとする実践的な態度に結びつける。 	<p>△ア③ △イ② △ウ③</p>

6 本時 (5/6) 日時：令和6年9月18日(水) 5校時 場所：5年4組教室

7 本時の目標

- 必要な情報を収集・整理して、目的に合った選び方・買い方について考える。

8 本時の展開

時間	主な学習活動と内容	○指導上の留意点及び支援 ★評価基準
5	<p>1 前時までの学習をふり返り、本時の学習のめあてを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 買い物の手順、上手な買い物をするために買い物の目的の明確化と計画が大切なことを確認する。 ○ 手順のポイントを押さえながら、買い物の手順をデジタル教科書で提示する。
<p>めあて 上手な買い物をするために、目的に合った選び方、買い方について考えよう。</p>		
20	<p>2 買い物に必要な情報を収集・整理して、目的に合った商品の選び方・買い方について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 商品選びへの意欲向上と活動の充実のために、場面設定をし、値段・生産地・賞味期限(消費期限)品質・分量・環境への影響などの観点の商品情報が付いている商品カードを準備する。

		○ 上手な商品選びにつなげるために、買い物の目的や一つひとつの商品の情報を明確に提示する。
15	<p>3 グループが考えた買い物計画について、全体で交流し、目的に合った買い物をするとき大切なことについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選んだ商品について。 ・どんな観点から商品を選んだのか。 	<p>○ 資料「いろいろな買い物」を参考にして、商品を選ぶ際の情報収集について、どんな情報が必要かを考えさせるようにする。</p> <p>○ 資料「買い物の手順」「上手な選び方」を参考にして、商品を選ぶ手がかりをいろいろな観点から考えて比較することの大切さを理解させるようににする。</p> <p>○ 目的に合った計画的な物の選び方、買い方には、情報の収集・整理・ふり返りが大切なことを確認する。</p> <p>☆物の選び方、買い方について、さらに、環境に配慮した生活についてさまざまな解決方法を考え、工夫している。(プリント・発言)</p>
5	4 本時の学習をふり返り、次時の学習について見通しをもつ。	○ 次時は、目的に合った計画的な物の選び方、買い方について考えたことをもとに、環境や資源に配慮した生活の工夫について考えていくことを伝える。

9 成果と課題

【成果】

- 買い物の場面や目的を明確にし、商品カードを準備したことにより、意欲をもって目的に合った買い物について考えることができた。
- 商品カードに明記された商品の情報だけでなく、お店の人に尋ねることで得られた情報も合わせることで、買い物に必要な観点を積極的に考えることができていた。

【課題】

- 情報収集の整理がうまくいかず、商品選びに時間を要するグループがあった。
- グループ課題を一つにそろえたが、さまざまな課題を準備して経験させることで、どの買い物でも情報・収集・整理・ふり返りが大切であることをよりおさえやすくなるのではないかと感じた。